

【認知症になっても安心して暮らせる地域づくり イメージ図】

認知症になっても安心して暮らせる地域社会の実現

施策の成果

1 適切な支援につながるための
相談体制の充実

- (1) 医師や認知症専門医療機関および介護関係者の連携
- (2) 高齢者相談センターの相談技術の向上

3 在宅生活の支援の充実

- (1) 介護家族支援の充実
- (2) 権利擁護相談体制の推進
- (3) 介護保険サービスの質の向上
- (4) 適切な認知症ケアのあり方についての検討
- (5) 若年性認知症支援の充実

2 早期発見・早期対応の推進

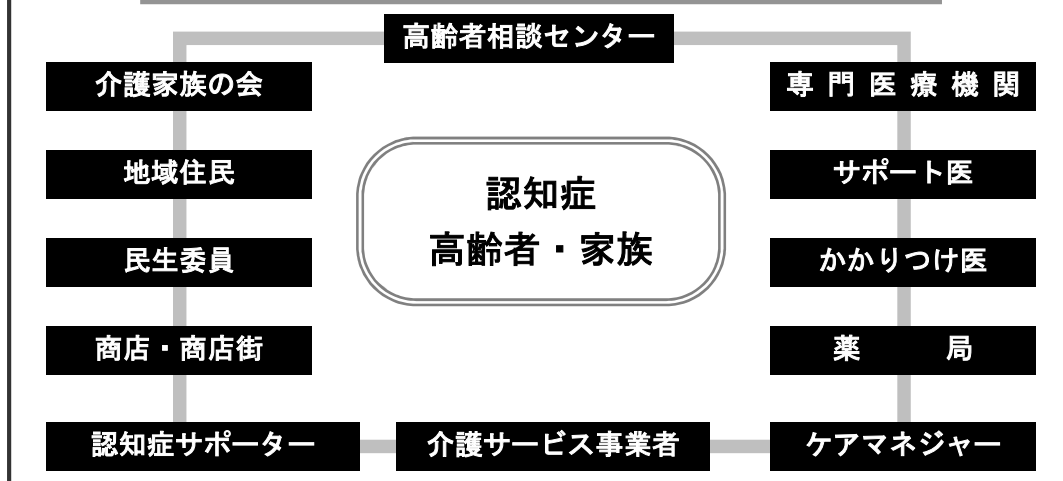
- (1) 啓発
- (2) 早期発見のための機会提供

4 地域における支え合いの強化

- (1) 認知症サポーター養成講座の拡充
- (2) 徘徊高齢者の見守りの推進

施策の方向性

認知症高齢者や家族を地域で見守るネットワークが必要



- 認知症高齢者の人数は、約 13,000 人～16,000 人。今後も増加する見込み
- 多くの高齢者は認知症になっても、住み慣れた地域での生活を希望。